

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	マザーズ春江		公表日 2026年2月24日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・活動、学習共に十分なスペースがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・複数の職員で人員配置を確認している。 ・スタッフが手薄になる時間帯(送迎、帰りの時間)の人員不足。パニック、痙攣、多動児童対応に限界があるように感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・現状でも整っているが、職員の事務スペースには改善の余地がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・日々清掃を行なっている、 ・正面には何も掲示しないことで、集中持続ができるようになった。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・静養室となるスペースを設けた。 ・多動傾向児童向けの個別部屋、スペース設置。 ・心身の不調などのときに、静かに休養できるスペースがある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・正社員は法人内のいずれかのグループに属し活動している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・スタッフ間で共有し、改善点を考えている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・朝礼と終礼の際に意見を言う時間がある。 ・朝礼、終礼での問いかけ。話しかけられたら、相手を見て会話。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		第三者評価の導入を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・法令遵守、虐待、感染症に関する研修を実施。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・5領域をふまえた計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・担当会議を実施し、支援内容のすり合わせをおこなっている。 ・担当会議の実施。ニーズのみならず、スタッフの声を聞き、児童の課題を把握して計画を作成している。 ・気になることなど、折に触れ常に検討できる環境にある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・事業所に在籍する職員に説明周知されている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・法人内で統一した書式を使用している。 連絡帳アプリの活用。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・定期的に活動内容を入れ替えている。 ・年度ごとに一定数のプログラムの入替えをおこなっている。 ・振り返り会議実施。会議での発言が少ない。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・ニーズによって集団活動と個別活動(専門的支援活動)の支援を行っている。 ・本年より専門的支援の実施を開始した。 ・活動内容に応じて、グループ、ペア、個別に設定。発達状況に合わせて組み合わせている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	マザーズ春江				公表日	2026年2月24日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	・朝礼時等に注意事項を伝えたり前回の反省を伝えたりしている。 ・活動内容や専門的支援実施児童の把握が全スタッフに行き渡っていない。	活動内容について事前に周知できるよう、掲示板や回覧板方式の伝達手段を検討する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・児童同士の約束や席決めも職員が常に間にはいらず、見守り、必要であれば支援する。 ・答えを伝えるのではなく、児童の思いを聞き取りスタッフと一緒に考え行動を促している。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・もっと学校の児童担当教諭や併用している放デイ事業所との支援共有の連携ができるとよい。 ・学校教諭を事業所に招き、支援の様子を見ていただき意見をいただいた。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	・必要な児童やニーズがあった場合におこなっている。 ・移行支援会議への参加。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	・要望があれば対応している。 ・これまでの発達状況、得手不得手、支援が必要な場面をまとめ保護者に渡している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・事業所同士の交流はあるが、児童クラブや児童館との交流はない。	夏休みなどを利用して実施していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	・児発管以外も参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・お迎え時に、職員全員が児童が過ごしていたときの状況や気になったことを一言でも伝えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・年に最低2回は実施している。 ・年2回茶話会実施。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・文面通りではなく、普段の生活場面に置き換えて具体的にイメージしやすく伝えている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・相談があれば応じている。 ・スタッフ間の共有。特定のスタッフへの偏りをなくすことで対応力向上に繋げている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	マザーズ春江		公表日 2026年2月24日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・事業所の新聞を作成し配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・短く簡潔に伝えるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・事業所への招待はないが、こちらから近隣の商店等に訪問することはある。	夏休みなどを利用して実施していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・医師の指示書の提出がある場合には対応する。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	・連絡帳アプリでマニュアルなどの閲覧はできるようになっているが、具体的にどうしていくのかの周知が不十分な気がする。 ・訓練等を行った際に内容を報告している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	・通報、相談しやすい環境。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			